

## 課題

大学進学希望者が多いが、最重要科目である英語について、模試や外部試験等の成績は全国平均を下回っている。語彙力をはじめ、4技能をバランスよく育成していくための方策を検討して実施し、改善していく必要がある。

## 具体的な取組と工夫

- 語彙力と構文力の定着に向けて、それぞれ週1回ずつ(合計2回)の単語テスト・英語構文テストを行う。発音したり、読んで書いて覚えたり、またスマートフォンのアプリを利用したりするなど、五感をフルに使って覚え、テストに合格しようと努力している生徒が多く見られる。
- スピーキング・テスト(1・2年生全員)・・・本校ALTの協力を得て、簡単な日常会話の後、あらかじめ印刷された質問項目を渡され、その内容についてやり取りをする。質問に答えるだけでなく、ALTにも質問する場面もあり、より即興的な会話力の養成にもつながっている。
- シークレットジャーナル(1年生全員)・・・お互いの名前を明かさずに進めていく英語による交換日記である。最初は書く内容にも苦労していたが、慣れるにつれて、書く内容や話題も増えていき、自然と英作文力も育まれていく。クラス替え時にお互いの名前を明かす。楽しみながら英語に親しみ、英語で「書くこと」についての抵抗感も徐々になくなってきた。
- レシテーションコンテスト(英語暗唱大会)(1年次)・・・あらかじめ選んだ4～5種類の教科書または有名人のスピーチ(一部分)を暗唱して発表するというもの。友人同士で何度も練習し、動画(Google Classroomで配信)のお手本を真似して真剣に練習する姿が見られた。
- メッセージコンテスト(2年次)・・・自分の伝えたいことについて、自分のオリジナルメッセージを作成する。友人同士でメッセージを読み合い、意見を交わしながらより良いものへと仕上げていった。最終的にプレゼン能力の向上にも寄与することができた。

## 成果

- 上記のような取り組みを継続することで、生徒たちは英語でのアウトプットに少しずつ慣れてきた。また1つの活動が、4技能の能力向上に波及効果(Writing→Speaking、Reading→Listeningなど)が見られるので今後も継続したい。
- 1、2年生は今夏英検IBAを受験したが、希望者は英検を学校で申し込みを取りまとめ、英語担当教員が希望者を対象に、筆記試験対策講座や英作文の添削、1次試験合格者に対しては2次試験の面接指導を行っている。受験を希望する生徒も増加しており、意欲的に取り組んでいる。
- ① 2021年度7月実施の英検IBAの結果より(1、2年生全員対象で実施)
  - ・2年生・英検IBA CSEスコア 団体平均総合 1772 ・CEFRレベル → A2相当
    - ・英検級レベル → 「英検準2級」合格レベル
    - ・各技能別平均スコア Reading 460 / Listening 451 / Writing 449 / Speaking 407
  - ・1年生・英検IBAスコア CSEスコア 団体平均総合 1717 ・CEFRレベル → A2相当
    - ・英検級レベル → 「英検3級」合格レベル
    - ・各技能別平均スコア Reading 442 / Listening 441 / Writing 441 / Speaking 390
- ②2021年度 英語検定合格状況(2021年度第2回学校申込分まで) 2級→11名、準2級→35名、3級→1名 (※その他個人で申し込みを行い、合格した生徒も複数名いる。)

## 課題及び改善案

- Readingに関しては、普段から英語を読む量が不足しており、長文を読み慣れていないので、英文に触れる機会を多くする。
- Listeningに苦手意識を持つ生徒が多く、今後も演習を継続し、繰り返し聞いて耳を慣れさせたい。スマートフォンで音声やスクリプトを確認できる問題集等を活用し、自学自習でも取り組ませる。
- 英語で書くこと・話すことへの抵抗は少なく、今後はaccuracy(正確さ)のレベルを上げ、英文量とのバランスを取って上達できるように留意する。
- 単語を覚えても忘れてしまう生徒も多い。語彙力の定着に向けて今後も継続して指導していく。
- 本校は1年次・2年次ともに約200人在籍しており、パフォーマンステストの実施時期や回数、内容や評価方法などについては今後検討していく必要がある。